えこだんLASSELE

蓄熱電気暖房器

取扱説明書	取付工事説明書
P1-[1]~P13-[10]	P14-[11]~P21-[19]

DM-2000HJ-G1
DM-3000HJ-G1
DM-4000HJ-G1
DM-5000HJ-G1
DM-6000HJ-G1
DM-7000HJ-G1

LMT-3600HJ-G
LMT-5500HJ-G

DM-4000HJ-G1

LMT-3600HJ-G

臭いについて

●設置初期の蓄熱時に、内部部品の湿気の影響により、臭いや煙の発生が見られる場合がありますが、異常ではありません。
※臭いや煙が発生した場合、窓を開け、部屋の換気を十分に行ってください。

蓄熱暖房器
DM&LMT
シリーズ
取扱説明
ムービー

※読み取り機能のないスマートフォンの場合、
無料アプリをダウンロードしてご利用ください。

ラッセル販売株式会社

この取扱説明書は大切に保管してください。
設置基準をお守りください。

再生紙を使用しています

1. はじめに

このたびは、蓄熱電気暖房器「えこだんLASSELE」をお買上げ頂き、まことにありがとうございます。
本製品を正しく安全にご使用頂くためにもこの取扱説明書はお使いになる前に必ずお読みください。
また、いつでも使えるよう**保証書と一緒に大切に保管**しておいてください。
下記の使用によって生じた事故、故障等は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

① 操作手順・方法を間違ったとき。
② 使用を越えた操作によるもの。
③ 不適切な保管・管理方法を取っていた場合。
④ 改造を施して使用した場合。
⑤ 天災・火災によるもの。また、水をかけたりした場合。
⑥ その他、外部的理由による場合。

目 次

1. はじめに ……1
2. 安全上の注意 ……2
3. 使用上の注意事項 ……3
4. 操作部の名称と役割 ……5
5. 使いかた ……6
5-1. 現在時刻を設定する……6
5-2. 蓄熱量を設定する……7
5-3. 残熱量の見かた……7
5-4. 室温を設定する……8
5-5. 追焚き運転をする……9
5-6. 決めた時間に暖房する……10
5-7. 時刻を修正する……11
6. お手入れのしかた……12
7. えこだんLASSELE標準仕様……12
8. サービスを依頼されるまえに……13
9. こんな時はすぐに ……13
10. サービスと保証……13
11. えこだんLASSELEの構造・電気配線……14
12. 取り付け工事（工事をするまえに）……15
13. 工事のまえに確認してください（※品番を確認してください）……16
14. 取り付け工事（転倒防止金具の取り付け・位置決め・高さ決め）……17
15. 取り付け工事（電気配線・組み込み）……18
15-1. 転倒防止金具の位置を確認……18
15-2. 組み込み後の電気配線（幹線と耐熱ケーブルの接続）をする場合……20
16. 取り付け電源接続（電気回路図）……20
17. 安全装置……20
18. 動作確認チェックシート……21
19. 施工工具・検査機器……21

2. 安全上の注意

⚠ 警 告

●ここに示した注意事項は、お使いになる方、取り付け工事をする方、他の人への危害と財産の損害を未然に防ぐため、安全に関する重要な内容を記載しています。
次の内容をよく理解してから、本文をお読みになり、記載事項を必ず守ってください。

⚠ 警 告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
⚠ 注 意	誤った取り扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。

●本文中に使われる“図記号”の意味は次の通りです。

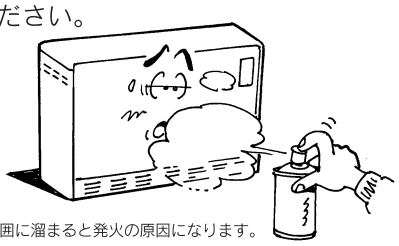
絶対行わないでください。	分解をしないでください。
必ず指示に従ってください。	電源プラグをコンセントから抜いてください。
触らないでください。	必ずアース工事を行ってください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

据え付けの注意事項

⚠ 警 告

●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。

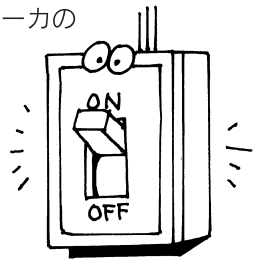


※万一ガスが漏れて機器の周囲に溜まると発火の原因になります。

●据え付けは、お買い上げの販売店または専門の工事店に依頼してください。

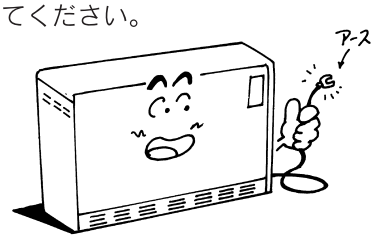
※ご自分で据え付けされ不備があると、漏電や、感電、火災の原因になります。

●設置場所によっては漏電ブレーカの取り付けが必要です。



※漏電ブレーカが取り付けられていないと感電の原因となります。

●アース工事を行ってください。



※アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

⚠ 注 意

●暖房器以外の目的で使用しないでください。
※この暖房器は居室を暖房するために作ってある製品です。
他の目的で使用しないでください。

●じゅうたん、畳の上等に直接設置しないでください。

●必ず転倒防止金具を取り付けてください。
※固定されていないと地震等により本体が倒れてケガをすることがあります。

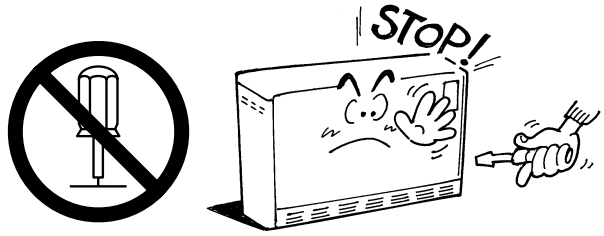
●長期使用製品安全点検制度について

平成21年4月1日から、長期間の使用に伴い生じる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、特に重大な危害を及ぼすおそれの多い9品目について「長期使用製品安全点検制度」（点検制度）が始まりました。本制度は、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により、安全上支障が生じ、特に重大な危害をおよぼすおそれの多い屋内式ガス瞬間湯沸器など、ガス、石油、電気を使用する設置式の9品目の製品を安全に使い続けるための制度です。また、経年劣化による重大事故発生率は高くないものの、事故件数が多い扇風機や洗濯機などの家電製品5品目については、点検制度ではなく、標準使用期間と経年劣化の注意を促す「長期使用製品安全表示制度」（表示制度）が始まりました。当社製品は9品目および5品目には該当しておりませんが、長期使用による事故を防止するため、定期的な点検等の実施をお奨めしております。

3. 使用上の注意事項

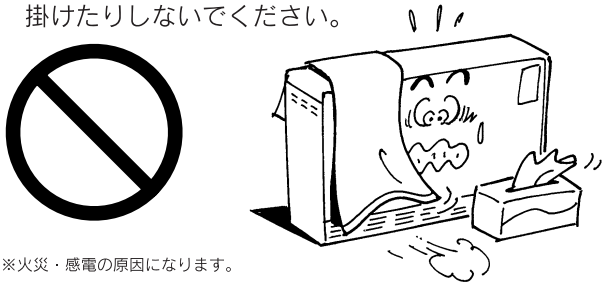
警　告

●分解、改造は絶対しないでください。



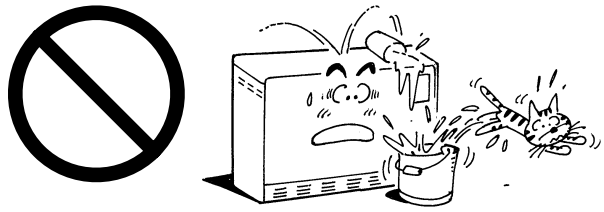
※発火・感電・やけど等の危険があります。(暖房器内は非常に高温です。)

●カーテン等の燃えやすい物の近くや、タオル等を掛けたりししないでください。



※火災・感電の原因になります。

●水をかけたり、こぼしたり、湿気の多いところでの使用はしないでください。

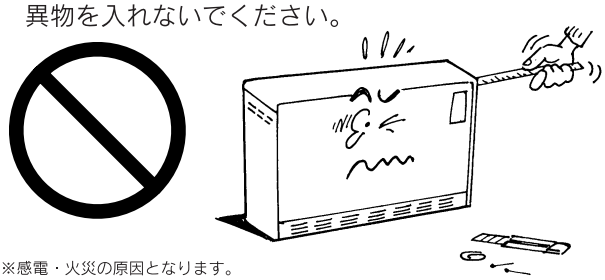


※故障や感電の原因になります。

●暖房器の上に乗ったり、物を載せたりしないでください。

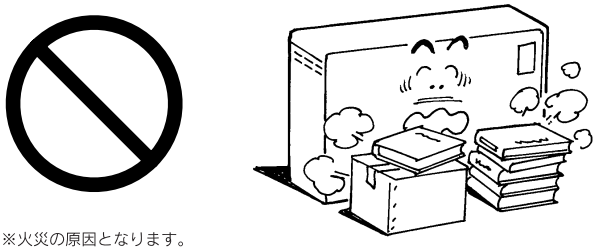
※暖房器の過熱により火災の原因になります。

●暖房器の吹き出し口や吸い込み口に金属等の異物を入れないでください。



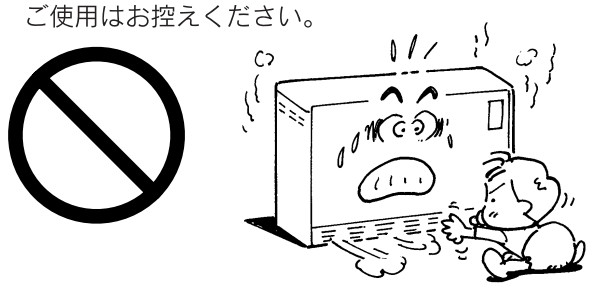
※感電・火災の原因となります。

●暖房器の吹き出し口や吸い込み口を塞がないでください。

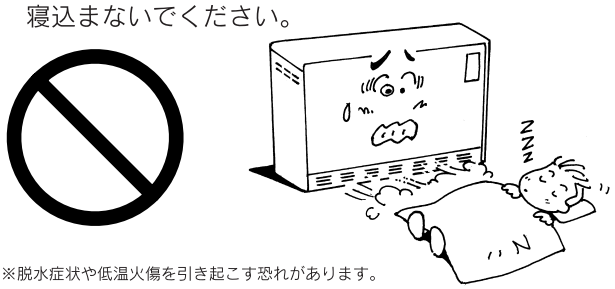


※火災の原因となります。

●幼児や体のご不自由な方は付き添えなしのご使用はお控えください。

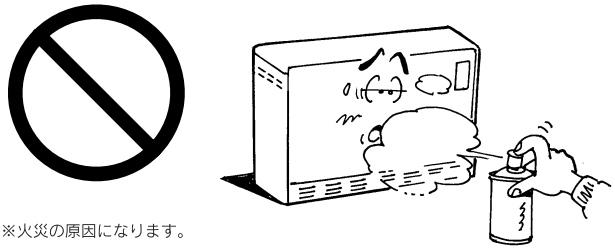


●暖房器の温風が直接あたるところで寝込まないでください。



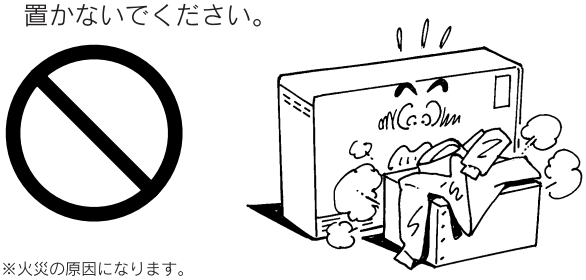
※脱水症状や低温火傷を引き起こす恐れがあります。

●暖房器の周辺にスプレー缶(引火物)及び燃えやすい物を置いたり、使用しないでください。



※火災の原因になります。

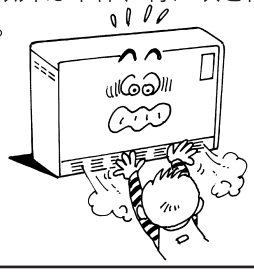
●暖房器の近くに布団、衣類等の燃えやすい物を置かないでください。



※火災の原因になります。

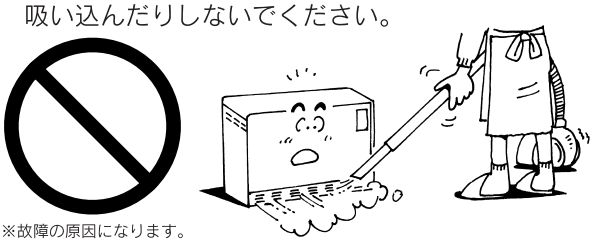
警　告

●運転中は、運転操作部以外は本体、特に吹き出し口に触れないでください。



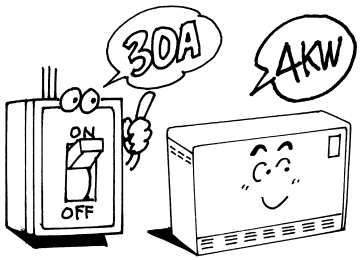
※火傷の恐れがあります。

●運転中は吹き出し口や吸い込み口を掃除機等で吸い込んだりしないでください。



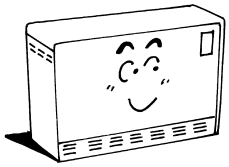
※故障の原因になります。

●ブレーカは定格容量（アンペア）に適した物をご使用ください。



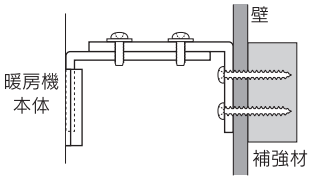
※故障や火災の原因になります。

●メンテナンスの時は必ずブレーカを「切り」にしてください。



※感電の恐れがあります。100Vは電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。

●転倒防止金具で本体が固定されているか確認する。
固定されていないと地震等により本体が倒れてケガをすることがあります。
（固定されていない場合は販売店にご相談ください）

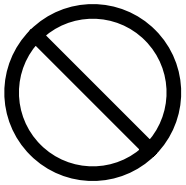


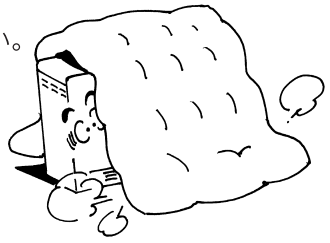
●暖房器が転倒した場合の処置
万が一暖房器が転倒した場合、基本的には転倒センサーの作動により電源が遮断されますが、念のため、お手をふれずに電源をお切りください。

※200Vはブレーカを切る。
100Vは電源プラグをコンセントから抜く。
また、すみやかに販売店か設置工事店に連絡してください。

注　意

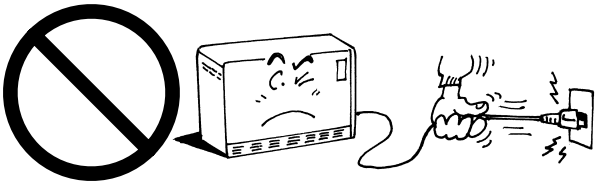
●暖房器以外の目的で使用しないでください。





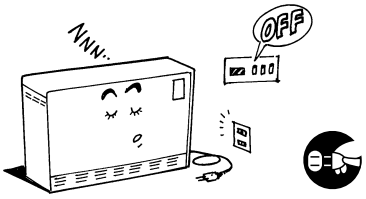
※この暖房器は居室を暖房するために作ってある製品です。
他の目的での使用はしないでください。

●電源コード等を引っ張ったり、無理な事はしないでください。



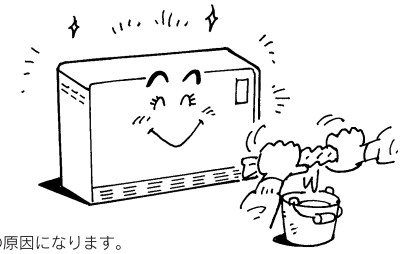
※感電や火災の恐れがあります。

●長時間ご使用にならないとき、動作しないとき、異常が感じられるときは、ブレーカを「切り」にしてください。



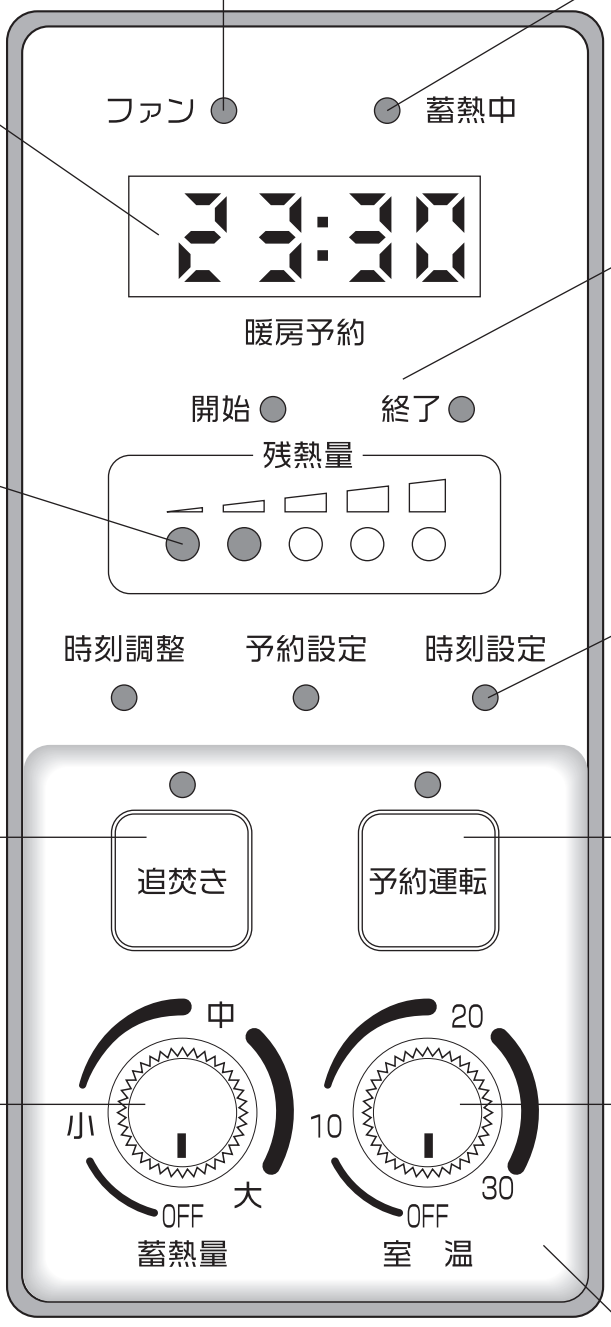
※100Vは電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。

●暖房器の周辺は清潔にしてください。



※ほこりが溜まると火災の原因になります。

4. 操作部の名称と役割



ファン
●ファンモーターが作動している間、点灯。

時刻表示
●現在時刻を表示。
●予約運転の設定時、暖房予約の開始及び終了時刻を表示。
●異常発生時エラーを表示。

蓄熱中ランプ
●暖房器が蓄熱している間点灯。

暖房予約 開始・終了表示ランプ
●暖房予約開始・終了時点滅します。

残熱量ランプ
（残熱量の目安）
●蓄熱量の残熱量がどれだけあるか表示します。
（5段階に表示）

設定スイッチ
●現在時刻の修正及び暖房予約設定の変更。

蓄熱追焚き運転ボタン
●ボタンを押すと、２時間蓄熱運転を行います。再度押すと解除されます。

暖房予約開始ボタン
●現在時刻の修正及び暖房予約開始。

蓄熱量つまみ
●蓄熱量を設定します。

室温つまみ
●室内温度を設定します。

チャイルズカバー
●上下にスライドします。

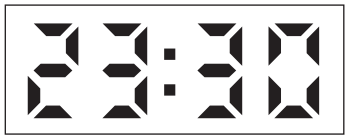
※リセットの方法 追焚き 予約運転 のボタンを同時に押します。

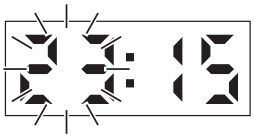
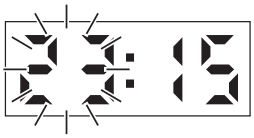
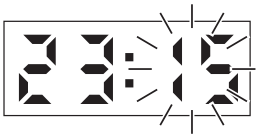
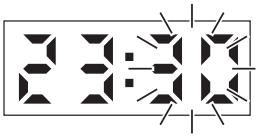
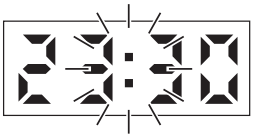
※タイマーはときどき確認してください。

5. 使いかた

5-1. 現在時刻を設定する

蓄熱暖房器の機能を正しくお使いいただくために、はじめに時刻表示を現在時刻に合わせます。



例 23時15分を23時30分に設定します。 100V及び200Vの電源をいれます。	点滅する
① 時刻設定スイッチを設定します。	 点滅する
② 時刻調整スイッチを押して時間を合わせます。 押し続けると数字は早く変わります。	 点滅する
③ 時刻設定スイッチを押します。	 点滅する
④ 時刻調整スイッチを押して分を合わせます。 押し続けると数字は早く変わります。	 点滅する
⑤ 時刻設定スイッチを押せば時刻表示部の中間部が 点滅し時計が動き始めます。	 点滅する

注　意

- ●必ず現在時刻を設定してください。設定しないと蓄熱暖房器が正しく機能しません。
- ●誤った時刻を設定すると、思わぬ電気料金がかかることがありますので現在時刻を正しく合わせてください。
- ●ときどき現在時刻表示を確認してください。
  時刻表示がずれると思わぬ電気料金がかかることがあります。
  （現在時刻を修正したい場合：P11.5-7 時刻を修正するを参照してください）
- ●ハサミの先や針の先などで押すと故障や感電の恐れがあります。
  「時刻設定」及び「時刻設定スイッチ」はボールペンの先などで押してください。

5-2. 蓄熱量を設定する

暖房を行うために蓄熱量の設定を行い、蓄熱します。

蓄熱量		
	設定基準	蓄熱比率
大	真冬	100%
中	早春・晩秋	60%
小	春・秋	20%

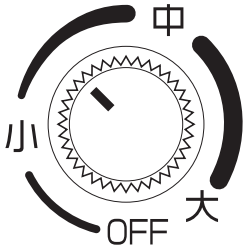
［ご注意］
初めて使用する場合や、長時間運転を停止した後、再び使用する場合は初日の蓄熱量を「小」に設定してください。これは蓄熱暖房器内部の湿気を取り除くためです。

●蓄熱量設定

蓄熱量つまみを回し蓄熱量を設定します。

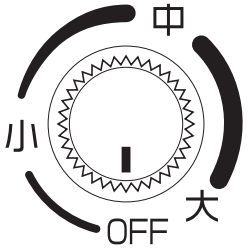
1）つまみの調整により蓄熱量を無段階に調整することができます。
小～大まで季節・気温等に合わせ設定してください。
（上記の表を参考にして設定してください。）

2）蓄熱は深夜の23時より翌日朝7時までに行われます。
蓄熱中は蓄熱中ランプが点灯します。



●蓄熱停止

1）蓄熱を停止する場合は［蓄熱量］つまみを［OFF］の位置まで回してください。
（長時間停止する場合は200Vブレーカを切ってください。）

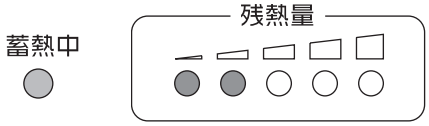


注　意

●蓄熱は設定したその日の夜間に行われますので、最初の暖房は翌日から可能となります。
●蓄熱量の設定は夜23：00（P.M.11:00）時点の［蓄熱量］つまみの位置で決まります。
●時間設定が間違った場合は蓄熱ができない場合があります。

5-3. 残熱量の見かた

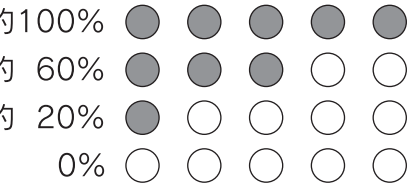
表示ランプの点灯状況で残熱量の目安を判断できます。



●残熱量 表示ランプ

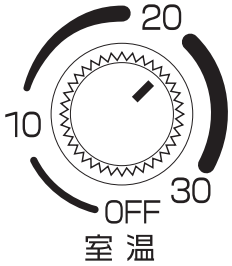
1）表示ランプ5個全灯の場合はほぼ100%
2）表示ランプ3個点灯の場合は … 約60%
3）表示ランプ1個点灯の場合は … 約20%
4）全く点灯していない場合は……大体0%
※これはあくまでも目安です。

残熱量の目安



5-4. 室温を設定する

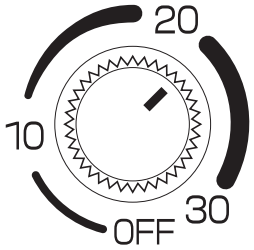
室内温度を設定し、蓄熱された熱を利用して暖房を行います。



●室温の設定

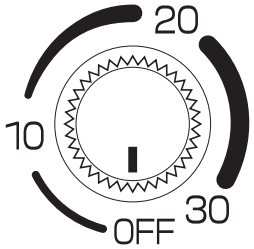
室温つまみをお好みの設定温度に合わせてください。

1）設定温度となるようにファンが自動運転します。
2）22℃くらいが経済的な温度です。
3）目盛りは温度設定の目安としてご利用ください。



●強制放熱暖房（ファン運転）の停止

1）強制放熱暖房（ファン運転）を停止する場合は［室温］つまみを［OFF］の位置まで回してください。

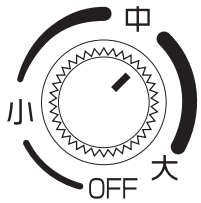


注　意

●暖房器の設置状況により目盛りと実際の室温に多少の誤差が出る事があります。
●必要以上に室内温度を上げると、残熱量が不足する場合があります。

5-5. 追焚き運転をする

時間帯別電灯契約でお使いの場合、蓄熱量が不足した時に、昼間の時間帯で蓄熱を行うことができます。

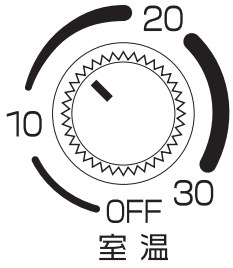
●蓄熱量設定 蓄熱量つまみを回し蓄熱量を設定します。	
●蓄熱追焚き運転の開始 「蓄熱追焚き運転」ボタンを押すとボタンの表示ランプが点灯し、蓄熱追焚き運転になります。	
●蓄熱追焚き運転の解除 再度「蓄熱追焚き運転」ボタンを押すとボタンの表示ランプが消え、蓄熱追焚き運転が解除されます。（2時間で自動解除されます。）	

注　意

●深夜電力契約でお使いの場合には通電時間帯以外に追焚き運転することはできません。（契約内容については電力会社へお問い合せください。）
●時間帯別契約でお使いの場合、昼間時間帯に蓄熱追焚き運転を頻繁にご使用になると電気代が高くなります。ご注意ください。

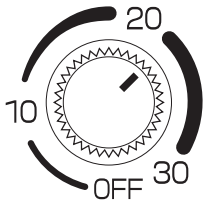
5-6. 決めた時間に暖房する

タイマー機能を利用して、設定した時間帯のみ強制放熱暖房（ファン運転）を行います。



●室温の設定

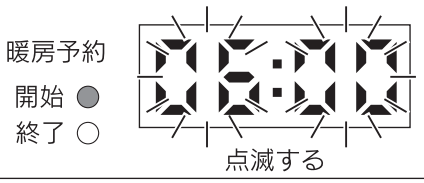
「室温」つまみをお好みの室温に合わせてください。



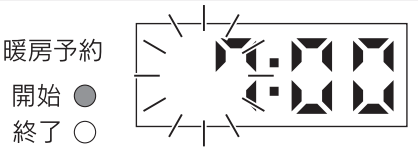
●暖房予約時間設定…1日2回できます。

例 7時30分から21時40分の間、暖房する場合。

① 予約設定スイッチを押します。
※開始ランプが点灯します。**（2回目は点滅）**



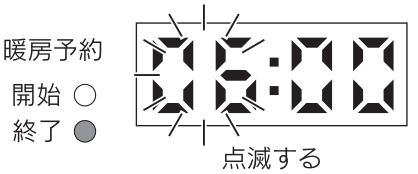
② 「時刻調整」スイッチを押し、暖房開始時刻の「時間」を合わせます。



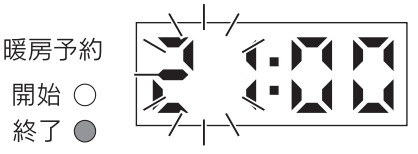
③ 「予約設定」スイッチを押します。

④ 「時刻調整」スイッチを押し、暖房開始時刻の「分」を合わせます。

⑤ 「予約設定」スイッチを押します。
※終了ランプが点灯します。**（2回目は点滅）**

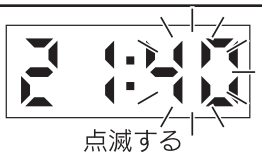
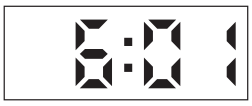


⑥ 「時刻調整」スイッチを押し、暖房終了時刻の「時間」を合わせます。



⑦ 「予約設定」スイッチを押します。

5-6. 決めた時間に暖房する（つづき）

⑧ 時刻調整スイッチを押し、 暖房終了時刻の「分」を合わせます。	暖房予約 開始 ● 終了 ○  点滅する
⑨ 2 回目の予約設定 「予約設定」スイッチを再び押せば、2回目の予約設定が行われます。2回目の予約時間設定方法は 1 回目と同じ方法で行われ、**終了ランプの点滅**で区別されます。	暖房予約 開始 ○ 終了 ●
⑩「予約設定」スイッチを押せば暖房予約を終了し、 現在時刻が表示されます。	暖房予約 開始 ● 終了 ○  （現在時刻）

●暖房予約の開始

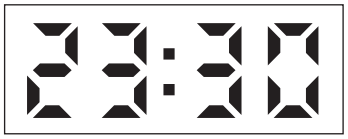
「予約運転」ボタンを押すとボタンの表示ランプが点灯し、暖房予約が開始されます。
※点灯したことを確認してください。

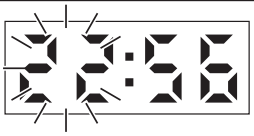
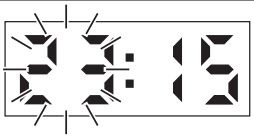
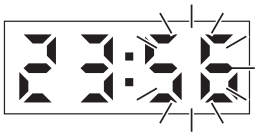
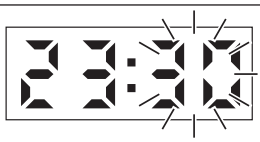
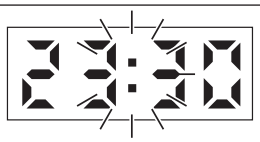
●暖房予約の解除

再度「予約運転」ボタンを押すとボタンの表示ランプが消え、暖房予約が解除されます。

5-7. 時刻を修正する

時刻表示がずれている場合、時刻を修正します。



例）現在時刻を22：56から23：30に修正する場合。 ①「時刻設定」スイッチを押します。	 点滅する
②「時刻調整」スイッチを押し、「時間」を合わせます。 押し続けると数字は早く変わります。	
③「時刻設定」スイッチを押します。	 点滅する
④「時刻調整」スイッチを押し、「分」を合わせます。 押し続けると数字は早く変わります。	
⑤「時刻設定」スイッチを押せば時刻表示部の中間部が 点灯し、時計が動き始めます。	 点滅する

6. お手入れのしかた

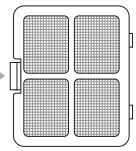
長期間安全に使用するためにも1ヶ月に一回程度、お手入れをお願いします。

本体のお手入れ

●200Vブレーカを切り、100Vの電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。
●絶対水をかけて掃除をしないでください。(漏電、感電や故障の原因になります。)
●柔らかい布を少しぬるめの水に浸し、固く絞ってから周囲を拭いてください。
　特に背面は綿ぼこり等がたまりやすくなっていますので良く拭き取ってください。
●中性洗剤を使用する場合、必ずきれいな乾いた布で水気を完全に拭き取ってください。
●室内のほこりが焼けこげて、前面パネルに付着することがあります。時間がたつと拭き取れなくなります。

フィルターのお手入れ

●200Vブレーカを切り、100Vの電源プラグをコンセントから抜いてから作業してください。
●取り外しできます。矢印部分(右記の図参照)を指でつまんでロックを外し、手前に引き出します。
●1ヶ月に一回程度、水洗いしながらブラシでほこりを取り去ってください。
●乾いた後、再びはめ込んでください。
●室内でペットを飼われているお客様は、換毛期にはこまめにフィルターのお掃除を行ってください。
●フィルターを外した後、本体内部には手をいれないでください。



お手入れ及びクリーニングの後、安全のため次の事項を必ず点検してください。

●必ず水を完全に乾かした後、手の水気も完全に拭き取り電源プラグを差し込んでください。

⚠ 注　意

⚠ ファンの清掃等内部の清掃は、設置工事店または専門の工事店に依頼してください。
感電・火傷などをする可能性があります。

7. えこだんLASSELE 標準仕様

型式	放熱蓄熱方式	蓄熱 蓄熱量 MJ	蓄熱 蓄熱量 kWh	蓄熱 蓄熱量 kcal	定格容量 定格周波数(Hz)	定格容量 定格消費電力 単相100V	定格容量 定格消費電力 単相200V	外形寸法 横幅×高さ×奥行 W×H×D(mm)	総重量(kg)	蓄熱体の重量(kg)	蓄熱体の数	価格(消費税別) ※表示価格に消費税が加算されます	暖房の目安(高気密・高断熱住宅の場合)
DM-2000HJ-G1	AC100V ファン 強制放熱 8時間蓄熱	51.91	14.42	12,400	50/60	18W	2,000W	660×648×258	120	78	14	¥158,000	4.5～6帖程度
DM-3000HJ-G1		78.26	21.74	18,700		18W	3,000W	852×648×258	169	117	21	¥180,000	6～8帖程度
DM-4000HJ-G1		105.08	29.19	25,100		18W	4,000W	1,044×648×258	218	156	28	¥213,000	8～14帖程度
DM-5000HJ-G1		124.74	34.65	29,800		24W	5,000W	1,236×648×258	268	196	35	¥245,000	14～18帖程度
DM-6000HJ-G1		159.48	44.30	38,100		24W	6,000W	1,428×648×258	317	235	42	¥275,000	18～22帖程度
DM-7000HJ-G1		173.73	48.26	41,500		24W	7,000W	1,428×648×258	332	235	42	¥308,000	22～24帖程度
LMT-3600HJ-G	AC100V ファン 強制放熱 8時間蓄熱	94.28	26.19	22,500	50/60	24W	3,600W	660×929×258	184	123	22	¥238,000	8～12帖程度
LMT-5500HJ-G		149.00	41.39	35,600		24W	5,500W	852×929×258	264	184	33	¥288,000	14～20帖程度

蓄熱量調整器	●電子式 200℃ OFF
室温調整器	●温度センサーによる室温探知(検知温度範囲0～30℃) ●室温調整:温度
安全装置	●温度過昇防止器:117℃ ●吹出口温度過昇防止器:150℃ ●転倒防止金具、転倒時電源遮断回路
蓄熱体	●酸化マグネシウム(純度92.8%)

発熱体	●DMシリーズ　:Ø6.5　シーズヒーター 6本 ●LMTシリーズ:Ø6.5　シーズヒーター 10本
断熱材	●テクノサーム　●カウルブラケット　●セラボード
付属品	●転倒防止金具一式、フィルター
蓄熱・放熱設定	●室内温度:0～30℃の1℃刻み設定 ●蓄熱量:OFF～小～中～大の無段階設定

8. サービスを依頼されるまえに

サービスをお申し付けになるまえに次の事をお調べください。

■ 蓄熱されない場合

●200Vのブレーカが《入》になっていますか？
●蓄熱量調節つまみがOFFになっていませんか？
●現在時刻と本体の時計の時刻が一致してますか？

■ 温風がでてこない場合

●100Vの電源が入っていますか？
●室温つまみがOFFになっていませんか？
●蓄熱はされていますか？

9. こんな時はすぐに

次の様な時はすぐに電源プラグを抜いて設置工事・販売店にご連絡ください。

●電源プラグやコードの被覆が破れているとき。
●スイッチが正確に作動しないとき。
●電源プラグやコードが異常に熱いとき。
●ブレーカがたびたび落ちるとき。
●洪水・台風など天災で機器が水没したとき。
●運転中に異常音がでるとき。
●エラー表示がでたとき。
●転倒したとき。
●その他異常を感じたとき。

※この蓄熱暖房器は自己診断機能もっています。暖房器に異常が発生した場合はデジタル表示部にエラーコードが表示されます。この場合、自動的に蓄熱と強制放熱暖房運転を停止しますので、設置工事・販売店に連絡してください。

■ エラーコード

表示	内容	エラーの時運転方法	解除
E-01	●蓄熱レンガ温度異常 ●蓄熱センサーが接続されてない ●蓄熱センサーが250℃以上を感知	FAN及びヒータOFF	リセット
E-10	●蓄熱レンガ温度異常 ●蓄熱センサーが-20℃以下を感知		リセット
E-02	●室温センサー異常 ●室温センサーが接続されていない ●室温センサーが50℃以上を感知		リセット
E-20	●室度センサー異常 ●室温センサーが-50℃以下を感知		リセット
E-03	●地震センサーが作動感知（自動復帰）		自動
E-04	●23:00~7:00の間 ●蓄熱量つまみONで200Vが加圧されていない ●漏電遮断器又は過昇防止器が作動している		リセット ※未使用時（漏電遮断器を切っている時）は蓄熱ダイヤルをOFFにしてリセット

時計表示
リセット①を、1回押しで点灯しなくなる
2回押しで点灯する

リセット方法
①追焚ボタン、予約ボタン同時押し
②100Vプラグを抜いて再び差し込む
（※リセットは、エラー表示原因を解消の後、行ってください）

10. サービスと保証

サービスをお申し出になるとき

「サービスを依頼されるまえに」に従って調べて、なお異常のあるとき及び**「こんな時はすぐに」**のようなときは、お買い上げの設置工事・販売店にご連絡ください。

保証書 保証期間について

●保証書は所定項目への記入と販売店名があるか確認の上、お買い上げの販売店よりお受け取り頂き大切に保管ください。
●保証期間内に万一故障した場合は保証書の記載内容により、修理いたします。
●保証期間経過後の修理については、お客様のご要望により修理させて頂きます。（有料）
修理については販売店にご相談ください。
●パーツの供給は生産中止より10年といたします。（ただし、シーズヒーターは15年）

■ 保証期間

●指定工事店以外の取り付けの場合（蓄熱部：2年間／制御部：2年間）
●ラッセル販売指定工事店の取り付けの場合（蓄熱部：5年間／制御部：2年間）

ご不明な点は（お買い上げの／お近くの）**設置工事・販売店**または**お客様ご相談窓口**にお問い合わせください

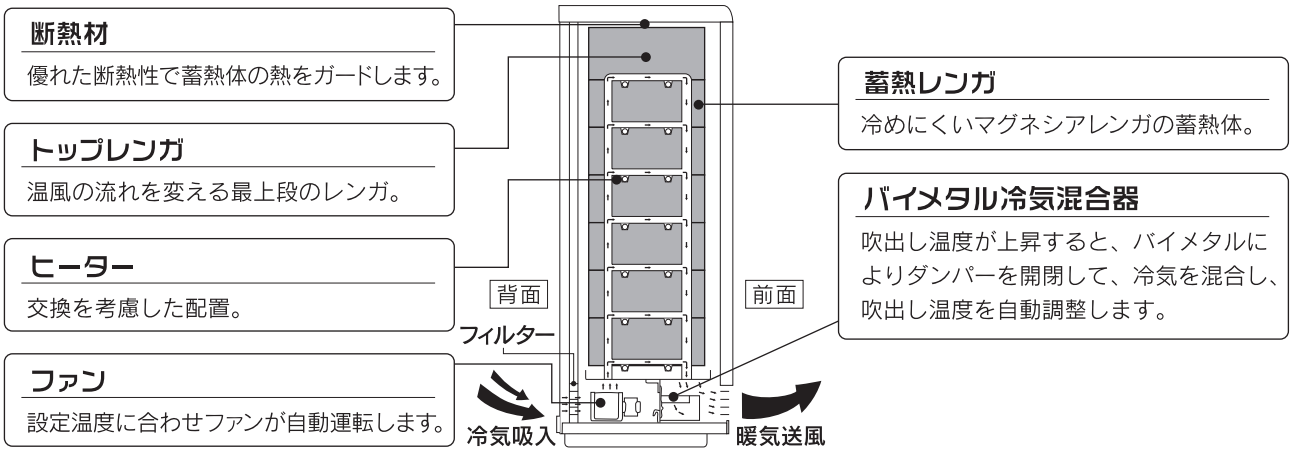
サービスと保証については
お客様ご相談窓口に
お問い合わせください

フリーダイヤル：0120-78-4511（9:00~17:00）
上記時間外は留守番電話での対応となります

11. えこだんLASSELEの構造・電気配線

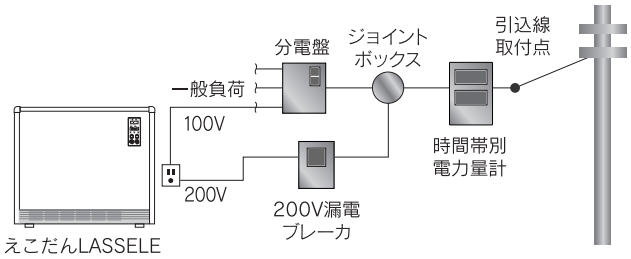
■ えこだんLASSELEの構造

蓄熱された熱エネルギーは、主に輻射熱によって放熱されます。
また室温センサーにより設定された温度でファンが自動的に作動・停止を反復して、室内温度を調節します。



■ 電気配線

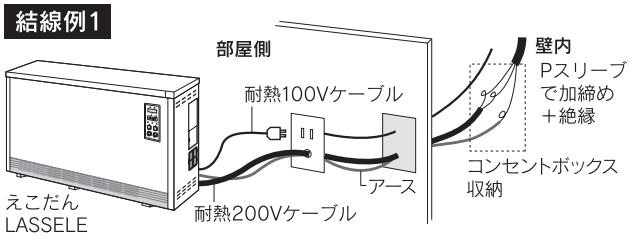
時間帯別電灯契約（機器で通電をOn・Off）



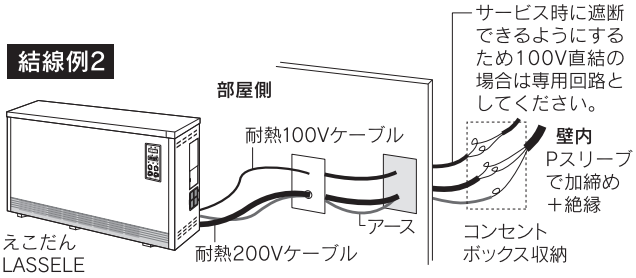
屋内配線（200V 3芯）ケーブルと遮断器の定格電流

機種	VV	CV	遮断器	200V結線 Pスリーブ	本体付属 耐熱ケーブル
DM-2000HJ-G1	直径1.6mm	2.0mm²	15A	P5.5	2.0mm²
DM-3000HJ-G1	直径2.0mm	3.5mm²	20A	P8	3.5mm²
DM-4000HJ-G1	5.5mm²	3.5mm²	30A	P8	3.5mm²
DM-5000HJ-G1	8.0mm²	5.5mm²	40A	P14	5.5mm²
DM-6000HJ-G1	8.0mm²	5.5mm²	40A	P14	5.5mm²
DM-7000HJ-G1	14.0mm²	8.0mm²	50A	P14	8.0mm²
LMT-3600HJ-G	5.5mm²	3.5mm²	30A	P8	3.5mm²
LMT-5500HJ-G	8.0mm²	5.5mm²	40A	P14	5.5mm²

結線例1



結線例2

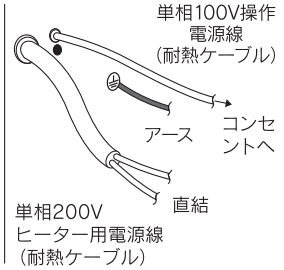


※ケーブルは暖房器本体に触れないよう配線してください。
※200V結線は、Pスリーブを使用してください。

■ 幹線と耐熱ケーブルの接続

アース工事は必ず行ってください。屋内配線3芯アース線とアース線を結線してください。
また、直結配線はPスリーブ＋絶縁処理をして、コンセントボックスの中へ収納してください。
※100Vは直結でも可能です。
※コンセントボックスが機器の背面にある場合、
　コンセントプラグが納まらないので、100Vは直結となります。
※全てPスリーブを使用してください。

えこだんLASSELE本体背面



■ 200Vの接続

アース工事は必ず行ってください。屋内配線3芯アース線とアース線を結線してください。また、直結配線はPスリーブ＋絶縁処理をして、コンセントボックスの中へ収納してください。
※100Vは直結でも可能です。

12. 取り付け工事（工事をするまえに）

※注意事項（施工者の方へ）

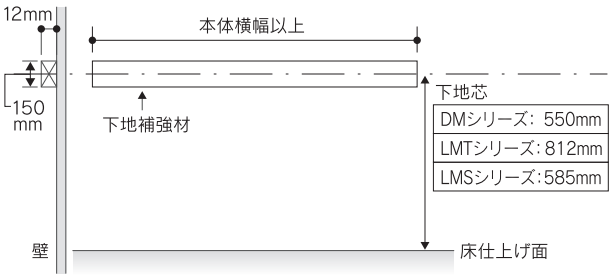
この製品は120kg～332kgと重量物です。一度設置すると移動するのには困難を要します。
壁補強と床下補強が必要ですので予めご確認をして戴き、お客様とご相談の上設置場所をお決めください。

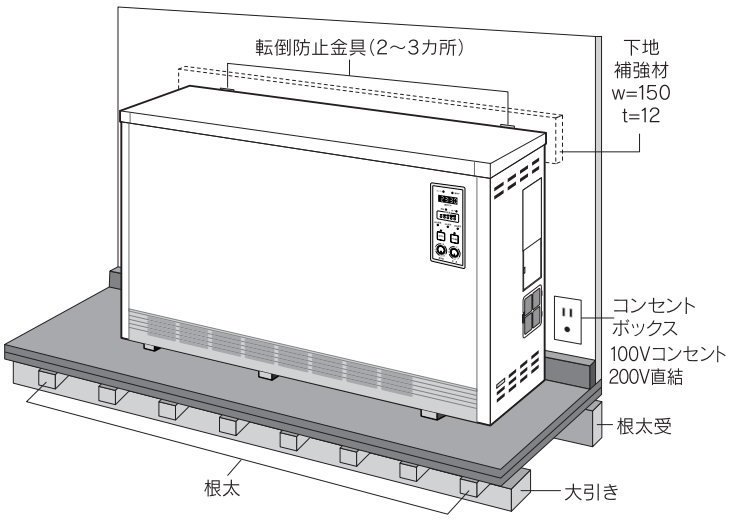
●壁・床・家具等に傷を付けないように必ず養生をした上で作業してください。
●本体の表面は高温です。本体と壁・棚・家具等との離隔距離は下図の寸法以上お取りください。
●畳・カーペットの上には直接設置しないでください。
●蓄熱レンガは必ずカス等の付着物を除去してください。（蓄熱したときに異臭の原因になります。）
●蓄熱レンガは水に濡れていないかご確認ください。
（濡れた状態で組み込むと水蒸気が発生して内部の腐食の原因になります。）
●ヒーター・断熱材は特に慎重に扱ってください。（変形・破損したものは使用しないでください。）
●転倒防止金具は必ずお付けください。（17ページ参照）
●取り付け工事の注意事項及び動作確認チェックシートに基づいて作業してください。
●機器内外は必ず清掃してください。

■ 取り付けと補強

蓄熱暖房器は重量物(120kg~332kg)です。設置後は容易に移動ができませんので、据え付けは慎重に検討し、床下地の補強と壁取り付け下地材の施工をお願いします。

※根太など、工法により異なります。補強は必要に応じて施してください。
※転倒防止金具は、本体背面の下地補強材の渡してある壁へ固定します。
※必ず壁にも補強を入れてください。
※畳やじゅうたん、カーペットの上に配置する場合は、直接触れないよう木台の上に本体を置き、水平にしっかり固定してください。
※クロスやカーテンは熱で変色しないもの、防炎仕様のものをお使いください。

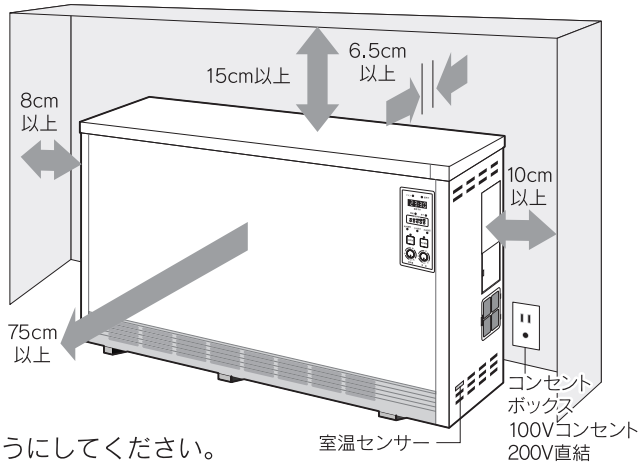




■ 設置スペース

本体表面温度は高温になりますので、右図のクリアランス（スペース）の確保が必要です。
なお、正面向かって右側は、メンテナンスを考慮して、10cm以上空けてください。また、正面（前面）は、熱の対流のため75cm以上の空間が必要です。

※100Vケーブルの長さ1.5m。
※吹き出し口は決してふさがないでください。



安全に点検するため

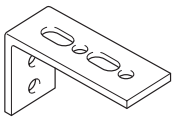
コンセントボックスは機器の右側に。機器と重ならないようにしてください。

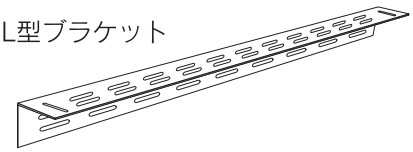
13. 工事のまえに確認してください。（※品番を確認してください）

■ 本製品の同梱付属品

○印の部品は外ビニールカバーの中に入っています。
●印の部品は右側板を外してください。中に入っています。

○取扱説明書・取付け工事説明書（1部）
○保証書　（1部）
転倒防止金具

パーツ名	数 量	数 量	数 量
	DM-2～4000HJ-G1	DM-5～7000HJ-G1	LMT-3600･5500HJ-G
●L型ステー 	2個	3個	3個
L型ステー止めボルト M5×L10	4本	6本	6本
ワッシャー	4個	6個	6個

パーツ名	数量
○L型ブラケット 	1個
L型ブラケット止め タッピングビス M4×L50	
DM-2000HJ-G1 … 2Kw（3ヶ所×2）	6本
DM-3000HJ-G1 … 3Kw（4ヶ所×2）	8本
DM-4000HJ-G1 … 4Kw（5ヶ所×2）	10本
DM-5000HJ-G1 … 5Kw（6ヶ所×2）	12本
DM-6000HJ-G1 … 6Kw（7ヶ所×2）	14本
DM-7000HJ-G1 … 7Kw（7ヶ所×2）	14本
LMT-3600HJ-G	7本
LMT-5500HJ-G	9本

●フィルター　●ビス類・室温センサーアダプター

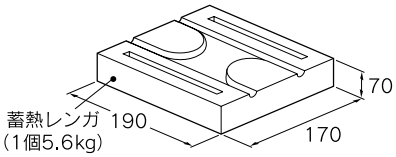
※重要
取付前に壁下地材の有無を確認してください。もし無い場合、耐震施工が出来ませんので施工会社様へ連絡してください。

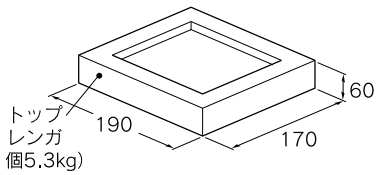
※取り付け手順
L型ブラケットを本体背面の下地材の渡してある壁へ固定します。胴縁スタット等、工法により異なりますので補強は必要に応じて施してください。

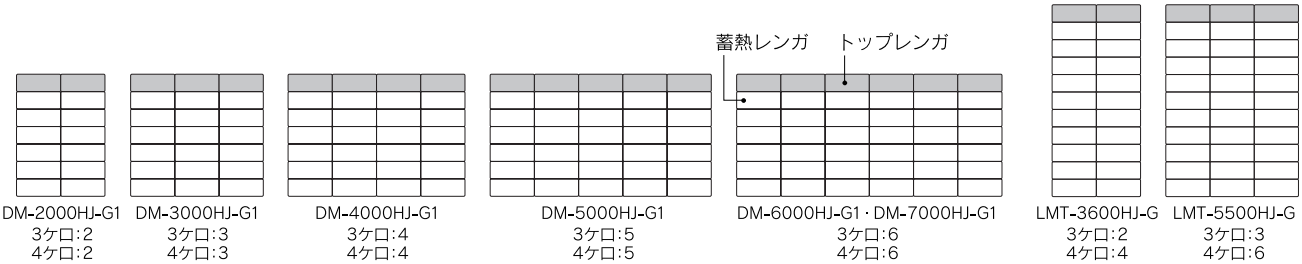
固定するタッピングビスの本数は左の表によります。

蓄熱レンガについて（別梱包付属部品）
蓄熱レンガは熱を蓄える蓄熱レンガと温風の流れを変えるために最上段にセットするトップレンガの2種類あります。
※使い始め、レンガの焼ける臭いがしますが故障ではありません。
　換気を十分に行ってください。

機 種	蓄熱レンガ	トップレンガ	重量（kg）
DM-2000HJ-G1	12個	2個	78
DM-3000HJ-G1	18個	3個	117
DM-4000HJ-G1	24個	4個	156
DM-5000HJ-G1	30個	5個	196
DM-6000HJ-G1／DM-7000HJ-G1	36個	6個	235
LMT-3600HJ-G	20個	2個	184
LMT-5500HJ-G	30個	3個	264



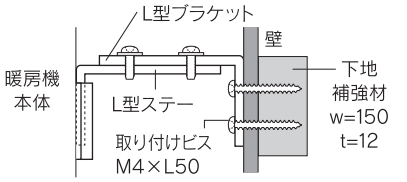


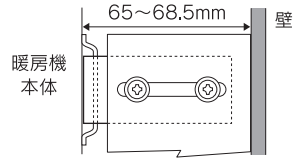


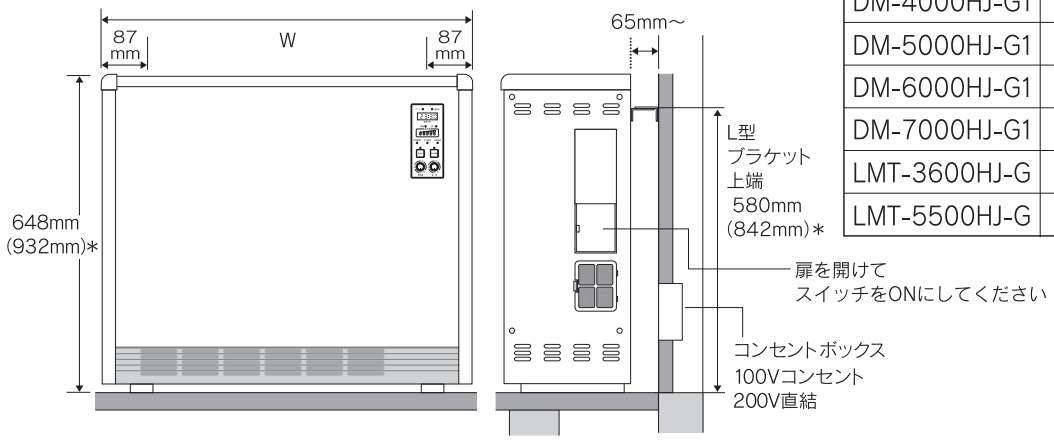
14. 取り付け工事（転倒防止金具の取り付け・位置決め・高さ決め）

■ 転倒防止金具 〈右側板の中に入っています〉　＊（　）寸法はLMTの場合

えこだんLASSELEの免震構造は、付属の転倒防止金具を確実に取り付けて完成します。
下記の固定方法は必ずお守りください。
※取り付けビスの数は決められています。※(表1)参照。







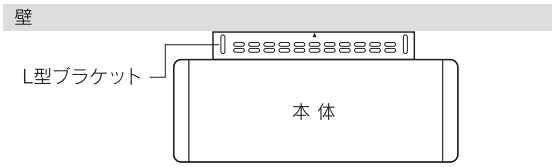
●L型ブラケットを止めるビスの本数

機 種	W(mm)	ビスの数(本)
DM-2000HJ-G1	660	6
DM-3000HJ-G1	852	8
DM-4000HJ-G1	1044	10
DM-5000HJ-G1	1236	12
DM-6000HJ-G1	1428	14
DM-7000HJ-G1	1428	14
LMT-3600HJ-G	660	7
LMT-5500HJ-G	852	9

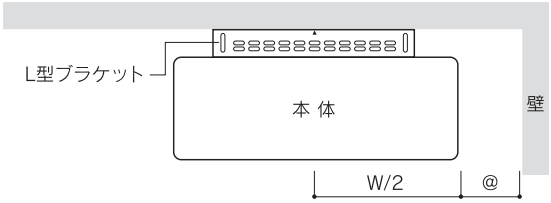
（表1）

■ 位置決め

① 中心決め
L型ブラケットの中心マークを合わせる。

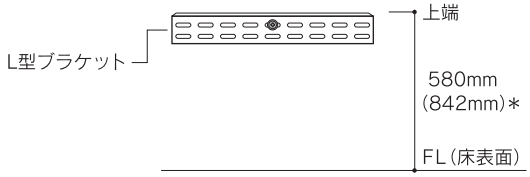


② 離れ決め
左右離れ寸法@　L型ブラケットの
中心マークをW/2＋@に合わせる。

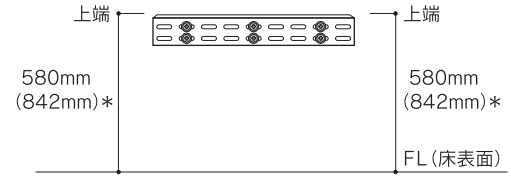


■ 高さ決め

① L型ブラケットの中心の上端をFL(床表面)＋580の
位置でビスで固定する。



② 左右の水平を取って、ビス止めをする。



※ビスの本数は決まっています。(表1参照)

[水平の取りかた]
●水準器　●左右の上端寸法　FL(床表面)＋580

機 種	DM-2000HJ-G1	DM-3000HJ-G1	DM-4000HJ-G1	DM-5000HJ-G1	DM-6000HJ-G1	DM-7000HJ-G1	LMT-3600HJ-G	LMT-5500HJ-G
W(mm)	660	852	1044	1236	1428	1428	660	852
W/2(mm)	330	426	522	618	714	714	330	426

[@寸法] ●右は150以上、左は80以上となります。

■ 床止めの設定もあります（オプション）

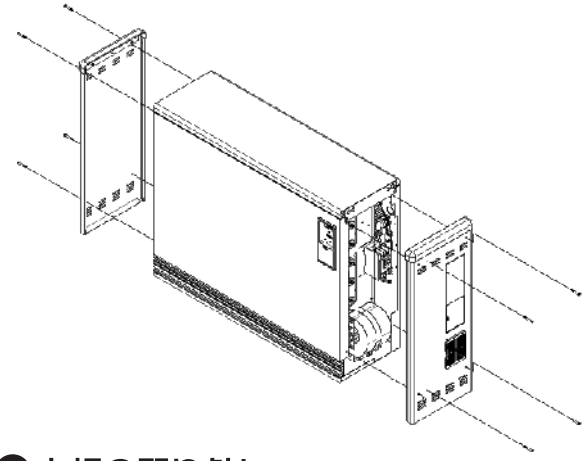
15. 取り付け工事（電気配線・組み込み）

15-1. 転倒防止金具の位置を確認

本体の取り付け、ケーブルの接続、レンガの組み込みの前に本体を分解します。
壁床などに傷をつけないように毛布等で養生をし、注意して作業してください。※軍手は必ず着用してください。

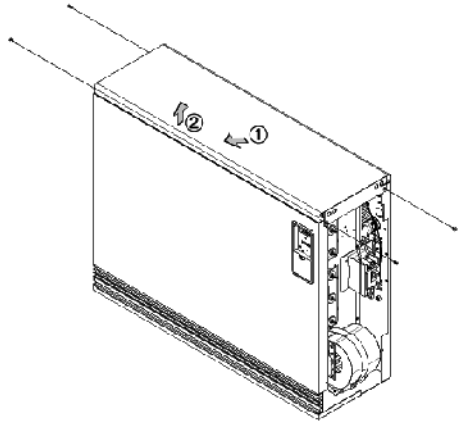
❶側板の取り外し

〈右側板は外れている〉
ネジ（4個）を外し、左側板を取り外します。



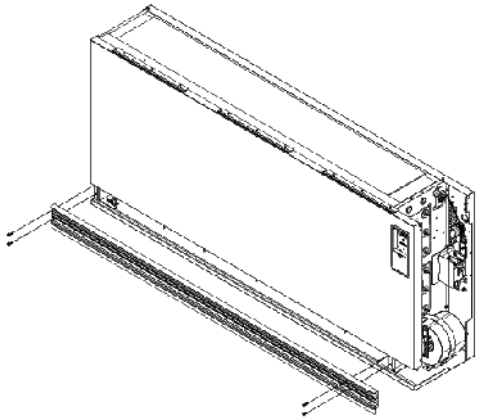
❷上板の取り外し

左右に固定されているネジ（4個）を外し、上板を前面（①）に引き出して（②）取り外します。



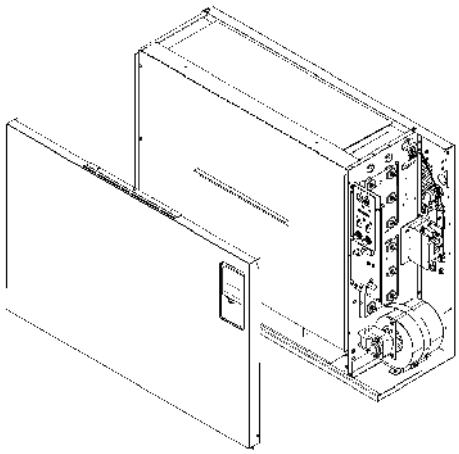
❸前面グリルの取り外し

ネジ（4個）を外し、グリルを取り外します。



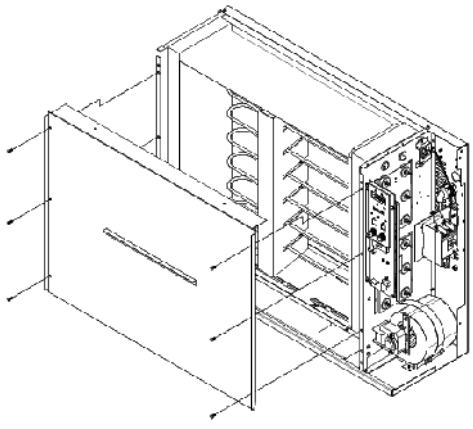
❹前面板の取り外し

前面板を取り外します。



❺前面断熱材の取り外し

ネジ（6個）を外し、前面断熱材を取り外します。



❻電気配線（幹線と耐熱ケーブルの接続）

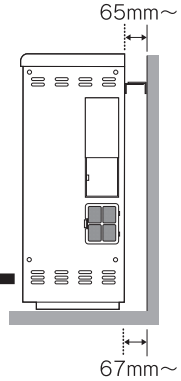
ケーブルの接続をします。※14ページ参照。

❼取り付け

転倒防止金具へ取り付けをします。
※17ページ参照。

●水準器で水平と垂直をチェックしたあと、下部を2mmほど前面に出して、風が上向きに出るようにします。

（フロアに直接、熱風が当たらないように、前面下部を2mm前方に出してください。）



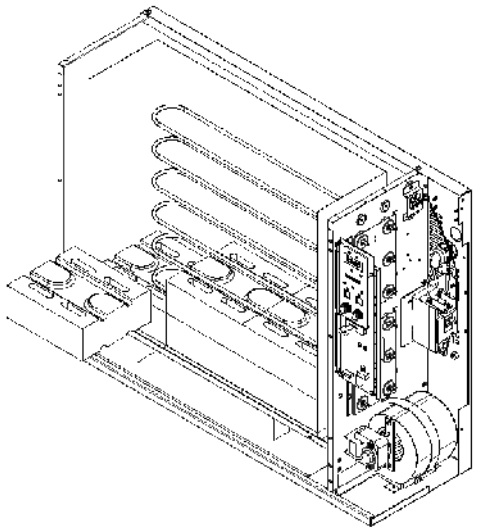
15. 取り付け工事(電気配線・組み込み)

❽ヒーター固定パットの取り外し

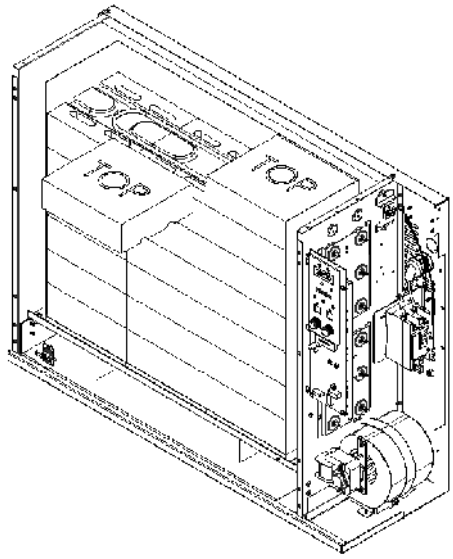
運搬保護用パットを取り外します。

❾レンガの組み込み

〈DMシリーズ〉レンガ:7段に組み込む
●下6段ノーマルレンガ　●上1段トップレンガ
〈LMTシリーズ〉レンガ:11段に組み込む
●下10段ノーマルレンガ　●上1段トップレンガ



上1段のトップレンガは平らな面が上向きです。



※ヒーターを上げ、レンガを左から入れて、
右にずらすようにしてセットします。

❿再組み立て

組み立て前に、動作チェックシートに従って、
チェックをします。※21ページ参照。

分解と逆の順序で組み立てを行います。

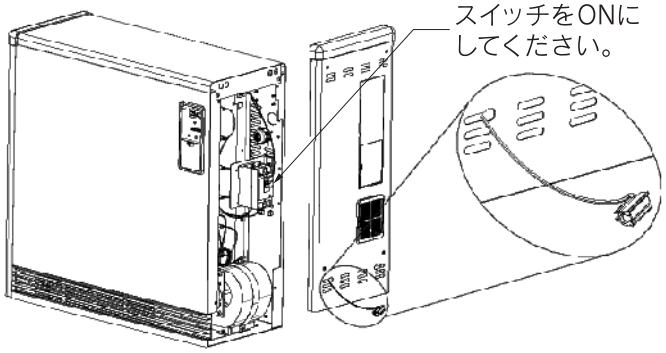
① 前面断熱材の組み込み
左側のネジを止め、制御盤の付いている中板を左に引っ張りながら、右のネジを止めてください。

② 前面板の組み立て

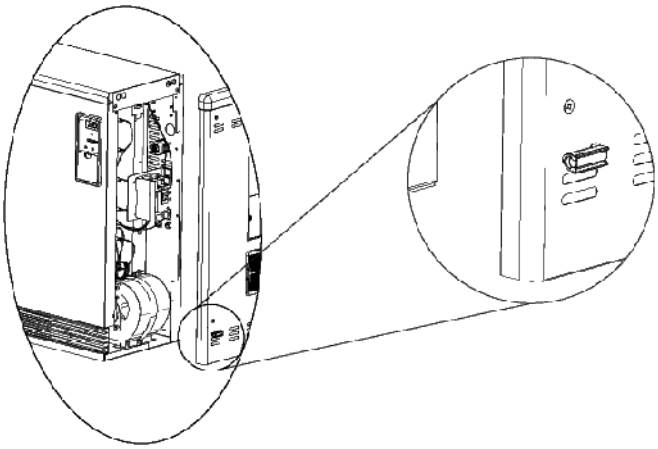
③ グリルの組み立て

④ 上板の組み立て
断熱材を左側に寄せて、手前より後方へ押すようにして組み立ててください。

⑤ 室温センサーの取り付け
室温センサーを右側板の穴に通します。



室温センサーホルダーにセットして右側板穴に取り付けます。



⑥ 左右側板の組み立て

⓫バックサイドカバーの取り付け
(オプションパーツ)

L型ブラケットとL型ステーをとめているビスを外し、
その間にバックサイドカバー差し込み、ネジ止めをします。
(左右2カ所)後付けで施工ができます。

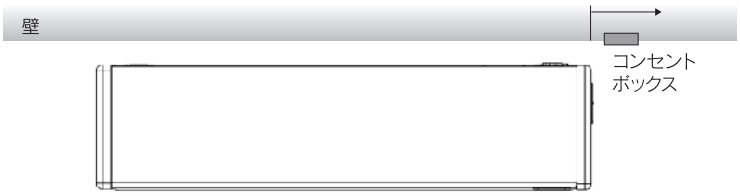
15-2. 組み込み後の電気配線(幹線と耐熱ケーブルの接続)をする場合

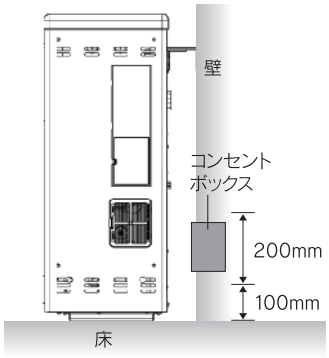
一般的には下記の順番で作業しますが、組み込み後の電気配線をする場合は⑦⑧の順番が逆でもかまいません。

P18 ❻ **電気配線(幹線と耐熱ケーブルの接続)** 200V結線はPスリーブを使用してください。

❼ **取り付け** コンセントボックスは機器の右側に。機器と重ならないようにしてください。

安全に点検するため コンセントボックスが下記の図の位置であれば、本体取り付け後、電気配線ができます。

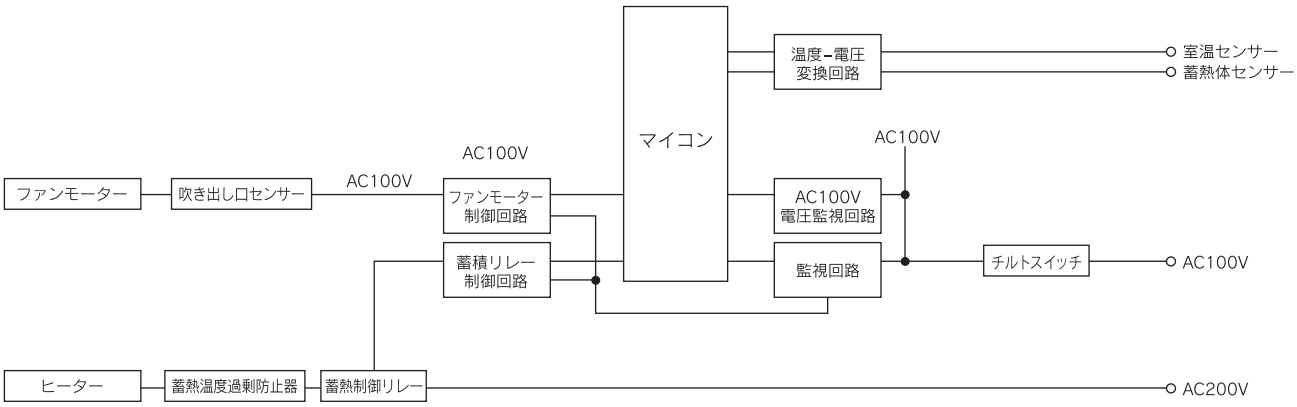




●コンセントボックスの位置

床から	100～200mm
機器の背面にならないように、右にずらし、機器と重ならないようにしてください。	

16. 取り付け電源接続(電気回路図)



■ バックアップ電池について

バックアップ期間は約5年です。停電時や100V電源が切れた場合、設定が保持されます。

17. 安全装置

■ 温度過昇防止器

機械室の制御盤を熱から守り誤作動を防ぎます。117℃で作動。200V回路を遮断し、手動で復帰します。

■ 転倒時電源遮断回路

地震などで本体が15°以上傾くと作動し、100V回路を遮断します。自動またはリセットで復帰します。

■ 吹出口温度過昇防止器

150℃で作動。ファン回路を遮断し、送風しないようにします。135℃以下で自動復帰します。

■ バイメタル冷気混合器

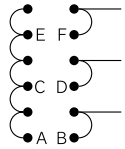
吹出し温度が上昇すると、バイメタルによりダンパーを開閉して、冷気を混合し、吹出し温度を自動で調整します。ファンのON、OFFにより、作動音が発生する場合があります。

18. 動作確認チェックシート

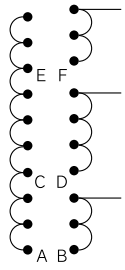
チェック項目	チェック欄
①機器本体と壁・家具・カーテン等との離隔距離は十分に確保したか	
②転倒防止金具は確実に取り付けられているか	
③断熱材・レンガ・碍子等に破損はないか	
④内外部とも清掃は十分なされているか	
⑤絶縁抵抗計にて絶縁の確認　1.0MΩ以上である	
⑥100V通電をして動作確認	
※現在時刻等の時刻設定は間違いないか	
※右サイド扉内のスイッチはONになっているか	
※室内温度ボリュームを最大にしてファンは回るか	
※蓄熱量ボリュームを最大にして追焚きボタンを押すと蓄熱中LEDが点灯するか	
⑦200V通電して動作確認	
※クランプテスターにて電源ケーブルの電流値を計測	

		チェック欄				チェック欄
DM-2000HJ-G1	10A	チェック欄		DM-3000HJ-G1	15A	
DM-4000HJ-G1	20A			DM-5000HJ-G1	25A	
DM-6000HJ-G1	30A			DM-7000HJ-G1	35A	
LMT-3600HJ-G	18A			LMT-5500HJ-G	27.5A	

⑧200V電源がない場合、テスターにてヒーターの抵抗値を測定



		チェック欄				チェック欄
DM-2000HJ-G1	60Ω　±5%	チェック欄		DM-3000HJ-G1	40Ω　±5%	
DM-4000HJ-G1	30Ω　±5%			DM-5000HJ-G1	24Ω　±5%	
DM-6000HJ-G1	20Ω　±5%			DM-7000HJ-G1	17Ω　±5%	



	LMT-3600HJ-G	LMT-5500HJ-G	ヒーターの本数	
E F	37Ω	24Ω	3	
C D	28Ω	18Ω	4	
A B	37Ω	24Ω	3	

⑨作業場所の清掃等片付けは大丈夫か？	

19. 施工工具・検査機器

［施工工具］

●プラスドライバー　●スタビードライバー　●圧着ペンチ(E型スリーブ･裸端子用･ファストン)
●スパナ(モンキースパナ)　●はさみ(ニッパ)　●ナイフ(カッター)　●ラジオペンチ(ペンチ)
●ハケ　●ウエス　●ビニールテープ･ガラステープ　●圧着端子･圧着スリーブ
●掃除機･ほうき　●敷き物(毛布等養生できるもの)

［検査機器］

●絶縁抵抗計(メガー)　●クランプメーター　●回路計(テスタ)　●スケール　●水準器　●放射温度計

■無料修理規定（保証規定）

1.「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書きに従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。

2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。

3. ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合、当社にご相談ください。

4.保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。
(1) 使用・維持管理上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷。
(2) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害や異常電圧など、その他の損傷の原因がある場合。
(3) 消耗部品の劣化に伴う故障および損傷。
(4) 本書の提示がない場合。
(5) 本書に取付日・お客様のお名前・取扱店の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明の場合、お買い求めの取扱店または当社にお問い合わせください。

年 月 日	損傷と処置	サービスの担当者

■ **本 社**（施工技術・負荷計算センター）
〒011-0911　秋田県秋田市飯島字砂田33-12　TEL 018-845-3303　FAX 018-845-3313

■ **製造者**　**大栄E&B株式会社** ／ DAEYEONG E&B CO., Ltd.
（韓国・ISO9001および14001認証取得）

■ **お客様お問い合わせ先**　**0120-78-4511**
※9:00-17:00以外の時間帯は、留守番電話での対応となります。

■ **ファクス情報センター**　**018-845-3313**

■ **ホームページ**　**蓄熱暖房機.jp**（日本語ドメイン）

■ **本社 ／ E-mail**　**lassele@gol.com**

取扱店

えこだんラッセルをご使用のお客様へ

蓄暖を安全に、長くご使用していただくためのお願い。

えこだんラッセルを長くご愛用いただきありがとうございます。
ご利用中の皆様からお問い合わせの多い事項をまとめました。
必ず目を通していただき、安全に、より快適にご使用いただきたくお願い申し上げます。

安全装置について

蓄暖は火を使用しない安全な暖房器ですが、内部は高温（約600℃）になるので、各種の安全装置を装備しております。
一部、主な安全装置についてご説明いたします。

①温度過昇防止器　：機械室の制御盤を熱から守り、誤作動を防ぐための安全装置。
②吹出口温度過昇防止器：吹出口や機械内が高温になるのを防ぐための安全装置。

②は自動で復帰しますが、①はPSE法（電機用品安全法）でメーカー点検後の手動復帰となっております。
①の装置が作動しますと、200V電源を機械内で遮断するので機器が熱くなりません。
朝、いつもより蓄熱量が少ない、安全装置が作動したかな？とお気付きの場合は、早急にご連絡ください。

特に天板の上や前面に物を置いたり、洗濯物を被せたりすると①②の安全装置が作動します。
火災の原因にもなりますので、このような使用は絶対におやめください。

その他、安全装置についての詳細や、すべての装置につきましては、取扱説明書P.20をご覧ください。

臭いについて

設置初期の蓄熱時に、内部部品の湿気の影響により、臭いや煙の発生が見られる場合がありますが、異常ではございません。

数シーズンご使用の後に、ゴム、プラスチックの溶けるような臭いをお感じになった際は、念のため下記のフリーダイヤル（0120-78-4511）まで、お気軽にご相談ください。

音について

蓄熱暖房器は性質上、以下のような音がする場合があります。
音が発生した場合でも、異常ではありませんので、安全には問題ありません。
①蓄熱を始めた時：ヒーターに通電開始する「カチッ」のスイッチ音。
②蓄熱中・蓄熱終了後：熱が上がる時、冷める時、パネル収縮・空気膨張のための「ポン」、「ボン」などの音。
③ファンの入切をした時：空気を取り込む部分の「カチッ」、「パン」などの開閉音。

メンテナンスについて

いつもと違うなと思ったら、販売店または、「お客様お問い合わせ先」のフリーダイヤルまでご連絡ください。
万が一の時には、メーカー専門スタッフが修理に訪問いたします。

最も身近で、重要なケースはファンのほこり、ゴミ詰まりです。ファン部にほこり、ゴミが入ると音を発生することがあります。この状況を放置するとファンの故障につながります。少なくとも1カ月に1回はフィルター清掃をしてください。さらに、機器周りの掃除もこまめにお願いいたします。
（※フィルター清掃は、取扱説明書P.12参照。感電の恐れがあるため、機器内部には絶対に手を入れないでください）

ゴミ詰まりによるメンテナンスは保証内外にかかわらず有償となります。
機器内部とファンの清掃は危険なため、メーカー専門スタッフが作業しますので、
下記フリーダイヤルまでご依頼ください。

お部屋環境、使用状況によりメンテナンスの時期は変わりますが、こまめな清掃で時期を遅らせることが可能です。
3～4年に一度程度の定期的なファン清掃のメンテナンスをしていただきますと、ファン自体長持ちします。

お客様お問い合わせ先：0120-78-4511（9:00~17:00） 上記時間外は留守番電話での対応となります

製造元
大栄E&B株式会社

輸入・販売元
えこだんLASSELE ラッセル販売株式会社